



あらかわ ひろみつ
荒澤 広光 議員

女神の郷周辺・ お客様目線で整備を

町として必要な支援を行っていく



高速道路から見える女神の出土地

【質問】 西ノ前遺跡公園「女神の郷」を散策すると様々な現状が見えてきます。公園内のトチの木、クヌギ等の木が13本が枯れてしまっています。水場エリアに関しては、水が流れていません。

一方舟形駅西口の防雪林にはJR東日本の協力を得て、民間団体が木道を整備し、希少動植物が

生息する「すずのかけ湧水」があります。この場所が舟形駅開通120周年記念として町長、新庄駅長、子ども会の協力で記念植樹を行い管理を行っています。

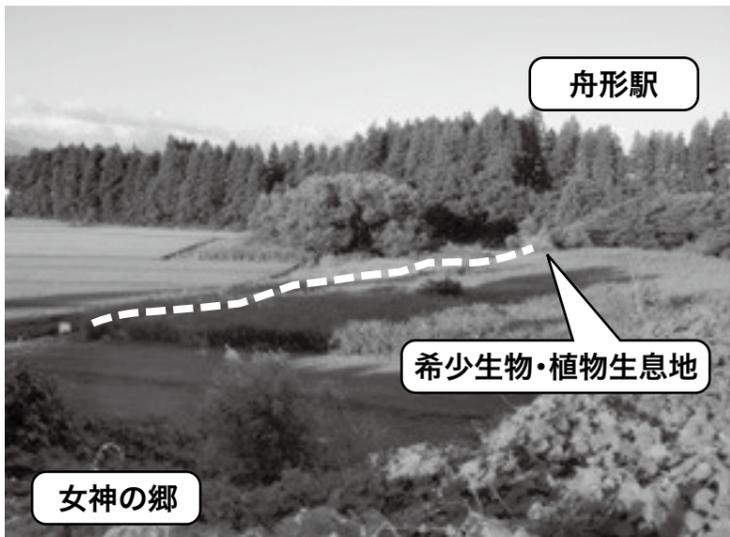
新庄駅の保全活動が高く評価されJR社内で表彰を受けました。町としても新庄駅と連携し駅西口から、すずの

かけ湧水、女神の郷までお客様目線で整備を行えば、交流人口の拡大に繋がると思いますが町長の考えを伺います。

【町長】 西ノ前遺跡公園は平成24年に縄文の女神が国宝に指定されたのを契機に、遺跡地一帯の保存を目的として整備が進められ、平成29年に「西ノ前遺跡公園女神の郷」として開園しました。西ノ前遺跡は町指定の埋蔵文化財であり、国が示す埋蔵文化財行政の大きな目的は「保存」と「活用」になります。

保存については、「埋蔵文化財は土地に埋蔵された状態を保持していることに意味があり、現在ある状態のまま将来に伝えていくことが第一義である」ことから、遺跡のある「ことから、遺跡の遺構に1mほどの盛土をし、地域のシンボルである「縄文の女神」が出土した遺跡として保存・管理をしています。このたびご指摘いただいた管理

の行き届かない点も含めて、改善点を洗い出し、多くの方に気持ち良く来園していただけるように整備してまいります。舟形駅から女神の郷までのルート途中にある「すずのかけ湧水」周辺については、有志でつくる「自然とみどり水に親しむ会」が環境保全活動に取り組んでおられ、様々な希少動植物が確認



女神の郷から駅までの散策ルート



おくやま けんぞう
奥山 謙三 議員

ヤングケアラーの現状と支援は

連携し、横断的に取り組む

「ヤングケアラー」も知っていますか？

【質問】 「ヤングケアラー」とは、両親のどちらかが離婚・死別によりいない、あるいは仕事などで忙しい場合、子どもが介護を担わざるをえなくなる状況になり、要介護状態の家族のために大人が担うような介護の責任を引き受け、家事や家族の世話、感情面のサポート（介

護）も行っている子どもや若者のことです。近年その問題性が強く指摘されています。舟形町の現状と支援について質問します。

子どもの把握や支援の推進については、今後も健康福祉課や教育委員会、学校、児童相談所などが連携し、横断的に取り組んでいきます。

【町長】 ①普及と活用はマイナンバーカードの普及状況は②マイナードの普及状況は③マイナンバーカードの普及状況は④マイナンバーカードを活用した新たな住民サービスの方策はあるのか。

【町長】 正確な実態把握は出来ていませんが、要保児童対策地域協議会での事例検討をはじめ、小学校や中学校、また児童相談所や警察などからの情報提供、相談対応においては、ヤングケアラーとされる事例は今のところ確認されていません。支援については、周囲の大人が気づけるように、また子ども自身が自覚出来るように、ヤングケアラーという言葉の認知度を高めることが必要と考えられています。問題を抱えた

【質問】 舟形町の現状と取り組みについて質問します。①直近のマイナンバーカードの普及状況は②マイナンバーカードの情報の紐付け等の誤りはあったのか③マイナンバーカードのトラブル等による返戻はあったのか④マイナンバーカードを活用した新たな住民サービスの方策はあるのか。

【町長】 ①普及状況は、令和5年7月末時点で保有枚数3915枚保有率80・1%全国平均71%を9・1ポイント上回っています。②誤りは、現時点では確認されていません。③返納も現時点では確認されていません。④令和5年4月から住民票等のコンビニ交付サービス、介護子育て関係の行政手続きオンライン申請、転入転出時の引越越しワンストップサービスを開始しています。

舟形町の皆さまへ
マイナンバーカードを使って
コンビニでいつでも 住民票など
かんたんに 取得できます
2023年4月3日
スタートだみんな！
利用してね

町としては、マイナンバーカードを活用した新たな施策を含め、町民生活の利便性向上や行政の効率化につながるデジタル化を総合的に検討し進めていきます。